



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年4月28日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 浩司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521
 四半期報告書提出予定日 2021年4月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,278	△28.2	60	△54.1	66	△49.5	45	92.4
2020年12月期第1四半期	1,780	△9.9	131	23.6	132	14.5	23	△69.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	2.71	—
2020年12月期第1四半期	1.41	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	11,606	10,080	86.9
2020年12月期	11,475	10,059	87.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 10,080百万円 2020年12月期 10,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,066	△6.2	60	△66.7	73	△61.1	45	△12.8	2.66
通期	7,050	13.0	430	25.4	450	25.1	300	77.8	17.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	17,955,000株	2020年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	1,039,944株	2020年12月期	1,039,944株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	16,915,056株	2020年12月期1Q	16,915,126株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年発生した新型コロナウイルス感染症の影響が継続するなか、各種感染拡大防止措置により経済活動が制限される状況が続いており、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、差別化戦略に基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、くし歯式の強みを生かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,278百万円(前期比28.2%減)、営業利益は60百万円(前期比54.1%減)、経常利益は66百万円(前期比49.5%減)、四半期純利益は前第1四半期累計期間に計上した投資有価証券評価損の計上がなく45百万円(前期比92.4%増)となりました。なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[減速機関連事業]

無人搬送台車駆動用減速機など、当社得意の個別製品の拡販に注力しましたが、工作機械の市況は回復するも民間設備投資需要全体では厳しい状況が続いているため定番製品が伸び悩み、売上高は784百万円(前期比5.5%減)となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等に取り組みましたが、売上高の減少等により37百万円(前期比28.0%減)となりました。

[駐車場装置関連事業]

前第1四半期における新設物件の反動により、売上高は437百万円(前期比49.7%減)となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めましたが、第1四半期においては売上高の減少等により25百万円(前期比67.2%減)となりました。

[室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と生産性向上に取り組み、受注獲得に努めましたが、新型コロナウイルス感染症による繰延べなどもあり、売上高は56百万円(前期比30.0%減)となりました。営業損益につきましても、継続的な原価低減に取り組むものの、売上高の減少により2百万円の損失(前期は0百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

[資産]

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ131百万円増加し11,606百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が279百万円減少した一方で、未成工事支出金が160百万円、現金及び預金が90百万円、仕掛品が65百万円、原材料及び貯蔵品が57百万円、製品が22百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ124百万円増加し7,890百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が減価償却費等により43百万円減少した一方で、保有株式の株価上昇等により投資有価証券が37百万円、長期前払費用を含むその他の項目が15百万円増加したことで、前事業年度末に比べ6百万円増加し3,715百万円となりました。

[負債]

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ109百万円増加し1,525百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が42百万円、未払金を含むその他の項目が53百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が159百万円、引当金が36百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ100百万円増加し1,146百万円となりました。

固定負債は、主に退職給付引当金が9百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ9百万円増加し379百万円となりました。

[純資産]

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ21百万円増加し10,080百万円となりました。

これは、主にその他有価証券評価差額金が26百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ0.8ポイント減少し86.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策により景気回復が期待される一方、一部地域を対象とした緊急事態宣言が発令されるなど依然として、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われませんが、2021年12月期の業績予想につきましては、現時点では2021年2月4日に公表しました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,490,179	4,581,177
受取手形及び売掛金	2,130,233	1,850,568
製品	44,065	67,046
仕掛品	538,488	603,960
未成工事支出金	134,226	294,719
原材料及び貯蔵品	392,684	449,851
その他	42,465	48,491
貸倒引当金	△6,405	△5,569
流動資産合計	7,765,937	7,890,245
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,552,759	2,555,196
減価償却累計額	△1,911,345	△1,925,003
建物(純額)	641,413	630,193
機械及び装置	2,409,379	2,410,030
減価償却累計額	△1,884,631	△1,908,808
機械及び装置(純額)	524,747	501,221
土地	1,604,963	1,604,963
建設仮勘定	-	1,310
その他	1,044,271	1,045,402
減価償却累計額	△903,454	△914,499
その他(純額)	140,817	130,903
有形固定資産合計	2,911,942	2,868,592
無形固定資産	53,507	49,984
投資その他の資産		
投資有価証券	288,394	326,276
その他	455,260	471,105
投資その他の資産合計	743,655	797,382
固定資産合計	3,709,105	3,715,959
資産合計	11,475,043	11,606,204

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	691,455	850,618
未払法人税等	85,828	43,541
引当金	51,737	88,039
その他	216,964	163,927
流動負債合計	1,045,985	1,146,127
固定負債		
退職給付引当金	316,548	326,460
役員退職慰労引当金	18,380	20,460
その他	35,017	32,463
固定負債合計	369,946	379,383
負債合計	1,415,932	1,525,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,881,870	3,876,903
自己株式	△198,023	△198,023
株主資本合計	10,088,301	10,083,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△29,190	△2,642
評価・換算差額等合計	△29,190	△2,642
純資産合計	10,059,111	10,080,692
負債純資産合計	11,475,043	11,606,204

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	1,780,768	1,278,608
売上原価	1,429,415	1,014,295
売上総利益	351,352	264,312
販売費及び一般管理費	220,032	204,042
営業利益	131,319	60,270
営業外収益		
受取利息	86	51
保険配当金	-	4,669
受取ロイヤリティー	1,215	1,355
業務受託料	-	2,730
その他	1,154	992
営業外収益合計	2,456	9,798
営業外費用		
売上割引	1,546	1,334
電力契約変更費用	-	1,955
その他	149	99
営業外費用合計	1,695	3,389
経常利益	132,080	66,679
特別損失		
投資有価証券評価損	106,186	-
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	106,186	0
税引前四半期純利益	25,894	66,679
法人税、住民税及び事業税	7,055	32,091
法人税等調整額	△4,955	△11,190
法人税等合計	2,100	20,900
四半期純利益	23,794	45,778

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	830,517	869,207	81,043	1,780,768	—	1,780,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,102	—	—	15,102	△15,102	—
計	845,620	869,207	81,043	1,795,871	△15,102	1,780,768
セグメント利益	51,512	79,134	672	131,319	—	131,319

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	784,787	437,066	56,754	1,278,608	—	1,278,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,333	—	—	34,333	△34,333	—
計	819,121	437,066	56,754	1,312,942	△34,333	1,278,608
セグメント利益又は損失(△)	37,071	25,958	△2,760	60,270	—	60,270

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。